

“女優にならなければいけない、と思ったの。
それ以外、考えられなかった”

——ロミー・シュナイダー



波乱万丈の生涯を送った、ヨーロッパ映画最高の映画女優
その軌跡をたどる、初の本格的な特集上映



ROMY SCHNEIDER Rétrospective- 40 ans après sa mort

太陽が知っている 4Kデジタルリマスター版
La Piscine

マックスとリリー ※日本劇場初公開
Max et les Ferrailleurs

夕なぎ
César et Rosalie

離愁 4Kデジタルリマスター版
Le Train

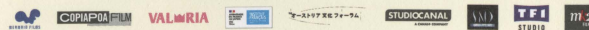
華麗なる女銀行家 4Kデジタルリマスター版
La Banquière

サン・スーシの女
La Passante du Sans-Souci

地獄 ※日本劇場初公開
L'Enfer d'Henri-Georges Clouzot

没後40年 ロミー・シュナイダー映画祭

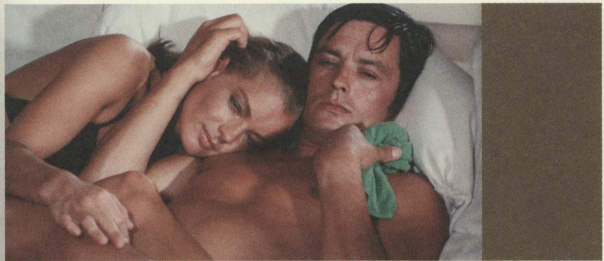
romyfilmfes.jp



主催:マーメイドフィルム 配給:コピアオフィルム 宣伝:VALERIA 後援:在日フランス大使館、アンスティチュフランセ日本、オースリア大使館/オースリア文化フォーラム東京 協力:オルスタックソフト販売



La Piscine



©1969 SNC/Geopix M6

太陽が知っている 4Kデジタルリマスター版

監督:ジャック・ドレー | 脚本:ジャック・ドレー、ジャン=クロード・カリエール
撮影:ジャン=ジャック・タルベ | 音楽:ミシェル・ルグラン
出演:アランドロン、ロミー・シュナイダー、モーリス・ロネ、ジュン・バーキン
1969年 | フランス・イタリア | カラー | 123分

▶バカンスを過ごしていたジャン=ポール(アランドロン)とマリアンス(ロミー・シュナイダー)だが、マリアンスが招待したハリ(モーリス・ロネ)と娘ペネロプ(ジュン・バーキン)がやってきてから雰囲気は一変する。ハリはマリアンスの元恋人で、ジャン=ポールはハリに劣等感を抱えていたのだ…。陽光降り注ぐサントロペの別荘を舞台に、4人の男女の思惑が官能的かつ不穏に交錯し合う心理サスペンス。かつて恋人同士だったドロンとロミーが後戻りのできない道を歩んでゆくカップルを熱演。

Max et les Ferrailleurs



©1971 STUDIOCANAL

マックスとリリー

※日本劇場初公開

監督:クロード・ソーテ | 脚本:クロード・ソーテ、クロード・ネロン、ジャン=ルー・ダバディ
原作:クロード・ネロン | 撮影:ルネ・マラン | 音楽:フィリップ・サルド
出演:ミシェル・ピコリ、ロミー・シュナイダー、フランソワ・ペリエ、ベルナル・フレッソン
1971年 | フランス・イタリア | カラー | 111分

▶犯罪者逮捕に異様な執念を燃やしながらも、犯人を取り逃がした刑事マックス(ミシェル・ピコリ)。捜査中、兵役仲間だったアベル(ベルナル・フレッソン)が盗難車などを扱う屑鉄屋を営んでいることを知ったマックスは、アベルの情婦である娼婦リリー(ロミー・シュナイダー)に近づき、彼らが銀行強盗を謀るよう画策する。しかしリリーとの間に奇妙なロマンスが生まれ…。C・ドヌーヴらが候補に挙がっていたリリー役を、ロミー自らソーテ監督に直訴して勝ち取り、“お姫様女優”のイメージを見事に払拭した。

César et Rosalie



©1972

夕なぎ

監督:クロード・ソーテ | 脚本:ジャン=ルー・ダバディ、クロード・ソーテ、クロード・ネロン
撮影:ジャン・ボフティ | 音楽:フィリップ・サルド
出演:ロミー・シュナイダー、イヴ・モンタン、サミー・フレイ、イザベル・ユベール
1972年 | フランス・イタリア・西ドイツ | カラー | 111分

▶幼い娘と共に解体業者のセザール(イヴ・モンタン)の元に転がり込んだロザリー(ロミー・シュナイダー)。エネルギーで明るいセザールとの生活は楽しいが、ある日、かつての恋人ダヴィッド(サミー・フレイ)と再会してしまう。全く異なるタイプのふたりの男に愛される女をロミーが演じた奇妙な三角関係のラブ・ストーリー。シアワセなドレスにフェミニンなシャツ、トレンチコートといったイヴ・サンローランの衣装が、神秘的でいて自由なロミーの魅力をさらに際立たせている。盟友ソーテ監督の代表作。

光輝く微笑と青い瞳が、彼女をお姫様スターにした。

ウィーンの名門俳優出身のアイドルは、アランドロンに恋して、パリにやって来る。

無邪気な微笑に翳りが忍び込み、彼女は女優になる。

この微笑こそが、ロミー・シュナイダーを悲劇へと導く。

自分自身の人生と、演じる人生との距離が掴めず、演じることに、自分を与えずぎてしまった。

恋人も、夫も失い、最愛の息子を死なせ、それでも、演技続けた生涯だった。

秦 早穂子

映画評論家

Le Train



©1975 STUDIOCANAL

離愁 4Kデジタルリマスター版

監督:ピエール・グラニエ=ドフェール | 脚本:ピエール・グラニエ=ドフェール、パスカル・ジャルダン | 原作:ジョルジュ・シムノン | 撮影:ワルター・ウォテイツ
音楽:フィリップ・サルド
出演:ジャン=ルイ・トランティニャン、ロミー・シュナイダー、モーリス・ピロー、アンヌ・ヴィアゼムスキー
1973年 | フランス・イタリア | カラー | 101分

▶ドイツ軍の侵攻のため、住み慣れた村を捨て避難列車に乗り込むジュリアン(ジャン=ルイ・トランティニャン)。妊娠中の妻と子供は客室に乗せ、自分は家畜車で過酷な旅を続けるジュリアンは、車内で謎めいた女アナ(ロミー・シュナイダー)に出会う。言葉も交わさないふたりだが、次第に求め合うようになってゆき…。シンプルな黒い半袖のワンピースに引詰められた髪というシンプルないでたちながら、死の恐怖と許されない愛に悶えるロミーの美しさが特に際立つ一本。鮮烈なラストも忘れがたい。

La Banquière



©1980 STUDIOCANAL-France 3 Indes

華麗なる女銀行家 4Kデジタルリマスター版

監督:フランシス・ジロー | 脚本:ジョルジュ・コンジョン、フランシス・ジロー
撮影:ベルナル・ジュルマン | 音楽:エンニオ・モリコーネ
出演:ロミー・シュナイダー、ジャン=ルイ・トランティニャン、マリー=フランス・ピジェ、ジャック・ファブリ、ジャン=クロード・ブリアリ
1980年 | フランス | カラー | 130分

▶第一次大戦後の狂乱の世情を背景に、金融界のみならず政界をも激震させた銀行家マルト・アノーの生涯をベースとした歴史大作。貧しい帽子屋に生まれながらも、その美貌によって上流社会の名花となり金融界に進出、やがてフランス初の女銀行家となったエンマ(ロミー・シュナイダー)の数奇な人生を描く。抑圧的な男社会に阻まれ、何度も憂き目に遭いながらもその都度立ち上がる強い女を圧倒的な存在感で体現。先頃逝去したジャン=ルイ・トランティニャンの冷酷な悪役ぶりも光る。

La Passante du Sans-Souci



©1982 - THE INTERNATIONAL FRANCE CINEMA - COCHIKRONST

サン・スーシの女

監督:ジャック・ルーフィオ | 脚本:ジャック・ルーフィオ、ジャック・キルスネル
原作:ジョゼフ・ケッセル | 撮影:ジャン・バンゼール | 音楽:ジョルジュ・ドルリュ
出演:ロミー・シュナイダー、ミシェル・ピコリ、ヘルムート・グリーム、ドミニク・ラブリエ、ウェンデルン・ウェルナー
1982年 | フランス・西ドイツ | カラー | 116分

▶父をナチスに殺された少年マックス(ウェンデルン・ウェルナー)を引き取ったソプラノ歌手エルザ(ロミー・シュナイダー)と夫のミシェル(ヘルムート・グリーム)。しかしミシェルが逮捕されたことをきっかけに、エルザは運命に翻弄されていく。ロミーの怪我や病氣、そして最愛の息子ダヴィッドを不慮の事故で亡くしたことも重なり何度も撮影延期となったものの、役への情熱を失わず見事に復活を遂げたロミーの遺作。実子と同年代のマックスを見つめるロミーの、悲痛ながらも美しい表情をカメラはとらえている。

幻の出演作に迫るドキュメンタリー

L'Enfer d'Henri-Georges Clouzot



©2009 Ubufer Films / France 3 Cinema

地獄

※日本劇場初公開

監督:セルジュ・ブロンベルグ、ルクサンドラ・メドレア | 音楽:ブルーノ・アレクシウ
出演:ロミー・シュナイダー、セルジュ・リアニ、ベレニス・ベジョ、ジャック・ガンブラン
2009年 | フランス | カラー・モノクロ | 94分

▶『情婦マノン』『恐怖の報酬』などの名匠アンリ=ジョルジュ・クルーゾー監督によって1964年に製作が開始されるも、監督が病に倒れて未完となってしまった幻の映画『地獄』。その残されたフィルムと関係者の証言などで構成され、2009年のカンヌ映画祭で大反響を巻き起こしたドキュメンタリー。妻の浮気を疑う夫の妄想がめぐるめく映像美で表現され、ロミーが一条まどわぬ姿で線路に横たわるシーンなど断片的ではあるものの強烈なイメージが垣間見られる。独特なメイクを施し濃艶な表情を見せるロミーにただただ圧倒されるが、天真爛漫なオフショットも多く収録されている。